

平成22年7月29日

報道機関各位

財団法人東北活性化研究センター

「村上市交流人口拡大に向けた観光まちづくり推進方策調査プロジェクト」

着手のお知らせ

財団法人東北活性化研究センター（会長：高橋宏明・東北電力㈱取締役会長）は、このほど、「村上市交流人口拡大に向けた観光まちづくり推進方策調査プロジェクト」に着手いたしましたのでお知らせいたします。

当センターでは、東北の地方自治体や会員企業等が主体となるプロジェクトで、東北の地域活性化にとって先導性や公共性が高く、かつ地域への波及効果が大きい案件に対し、実施主体からの支援要請に基づき、企画・立ち上げのための調査や各種ノウハウ・情報の提供等の支援・協力を行っております。

当センターでは、村上市および地元の地域づくりに取り組んでいる「むらかみ出羽街道元気づくりネットワーク」より支援要請を受け、本年1月から事前調査などを実施してまいりました。

今般、地域づくりや観光関係の有識者をパネリストにお招きし、第1回懇談会を下記のとおり開催することとしておりますので、ご案内いたします。

なお、本プロジェクトの企画骨子については、別添資料のとおりです。

記

テーマ：「これからの観光動向と村上の観光まちづくり」  
日時：平成22年8月3日（火）14：00～16：30  
会場：村上市勤労者総合福祉センター（クリエート村上）2F 会議室  
（村上市三之町1番6号）

パネリスト：村上 雅巳氏：跡見学園女子大学マネジメント学部 准教授  
西 尚子氏：株式会社リクルート エリアプロデューサー（新潟担当）  
後藤 忠勝氏：山形県西川町総務企画課 課長補佐  
コーディネーター：志賀 秀一氏：株式会社東北地域環境研究室 代表

以上

<添付資料>

- ・ 企画骨子

<お問い合わせ先>

財団法人東北活性化研究センター（担当：星）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3357

FAX：022-225-0082

URL：<http://www.kasseiken.jp>

# 「村上市交流人口拡大に向けた観光まちづくり推進方策調査プロジェクト」 企画骨子

## 1. 目的

新潟県北の城下町である村上市は、新潟県下越地方の中心都市であり、歴史的・文化的に特異性のある観光素材を有している。

かつては村上城下を起点に庄内鶴岡へと通じる出羽街道があり、かの松尾芭蕉が庄内地域からこの道を通り村上の旅籠に宿泊したほか、近郊には瀬波温泉という観光資源もある。また、近年では、城下町村上の「町屋の外観再生プロジェクト」が平成21年度あしたのまち・くらしづくり活動賞（主催 財団法人あしたの日本を創る協会など）で内閣総理大臣賞を受賞するなど全国的にも注目を集めている。

現在、平成20年4月の市町村合併後の新村上市（旧1市2町2村 村上市、荒川町、神林村、朝日村、山北町）においては、地域力の強化に向けての交流人口の拡大が重要な政策課題となっている。

本プロジェクトは、町屋保全活動で注目を浴びている村上市において、出羽街道や瀬波温泉との係わりを活かして、さらなる交流人口の増加をはかることを目的に、同市における交流資源（歴史、潜在力、地域資源等）を再評価し、課題の把握・分析を行い、出羽街道、瀬波温泉、町屋から成る三位一体の「観光まちづくり」戦略を検討・立案するものである。

## 2. 調査地域

村上市（旧1市2町2村 村上市、荒川町、神林村、朝日村、山北町）

## 3. 調査の概要

- (1) 村上市に存在する交流資源（歴史、潜在力、地域資源等）の把握・整理
- (2) 関係者のコンセンサス形成のための準備活動
- (3) 「観光まちづくり戦略」の検討・立案
- (4) 観光まちづくりのための官民協働組織の設立

## 4. 調査体制・手法

### (1) 観光まちづくり懇談会・ワーキンググループ

年4回程度「観光まちづくり懇談会」を開催し、有識者、交通事業者、旅行業者、地元官民の方々に集まっていただき、村上市の観光まちづくりについての意見交換を行う。

地元観光関係者によるワーキンググループを設置し、懇談会での意見などを「観光まちづくり戦略」に具体化するための検討を行う。

### (2) 調査手法

市内観光関係者（旅館、道の駅、町屋関係者など）の協力を得て、村上市を訪れた観光客へのアンケート調査や観光事業者等へのヒアリング調査などを行い、その分析結果などを踏まえて、「観光まちづくり戦略」を検討・立案していく。

## 5. 調査期間

平成22年1月～平成23年3月

以上